

2017年度 大東文化大学大学院中国言語文化学専攻 学術シンポジウム

主催：大東文化大学大学院中国言語文化学専攻 共催：日本中国語学会 関東支部第二回例会
：大東文化大学中国語学科

テーマ：「中国語研究と生成文法」

日時：2017年9月17日（日）

場所：大東文化会館大ホール（アクセスマップは「大東文化会館アクセス」で検索ください）

時間：午前10時～午後5時30分

午前10時～12時10分：研究発表

（司会：文教大学・山田忠司、大東文化大学・山口直人）

10時～10時30分：李鵬（大東文化大学・院）

中国語結果複合動詞の生成部門——統語部門か語彙部門か？

10時30分～11時：藤本健一（大東文化大学・助教）

丁韞良の法律新語——《萬國公法》からの変遷を中心に

休憩：11時～11時10分

11時10分～11時40分：吉田慶子（大東文化大学）

翻訳と中国法の近代化——日中法律文化交流の観点から

11時40分～12時10分：鈴木武生（跡見学園女子大学・非）

構文と情報構造——動詞コピー構文を中心に

昼休み：12時10分～1時

午後1時～2時：日本中国語学会 関東支部第二回例会 研究発表

（司会：東京外国語大学・加藤晴子）

1時～1時30分：陳玥（東京大学・院）

「V起来」と「V得」構文の意味機能に関する考察

1時30分～2時：田村 新（首都大学東京・非）

清末民初の中国人による量詞研究について

休憩：2時～2時20分（のち講演者紹介10分）

2時30分～3時30分：講演1

お茶の水女子大学 伊藤さとみ

疑問文中の語気助詞“呢”の機能：疑問演算子か対照話題マーカークかをめぐって

3時30分～4時30分：講演2

大東文化大学 山口直人

中国語生成文法の可能性

講演に関する討論：4時50分～5時30分（司会：跡見学園女子大学・非・鈴木武生）